

なきごえ



1982

7

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

藤本 あや美



「動物が好きですか」と、聞かれた時「嫌い。」と、答える人は、少ないのではないかと思います。

その程度にこそ差はあれ庭先で遊ぶすずめやぬいぐるみのような小犬をだれもがかわいいと思うことでしょう。身近なもの、知っているものには、愛着もわくのですが、毎日のように新聞を賑す自然保護や動物保護の問題に心悩ます人は意外に少ないのではないのでしょうか。キタキツネの保護や、チンパンジー絶滅の危機、ニホンジカの問題、等々、どこからか動物の悲鳴が聞こえて来そうですが、私の周りではそんな問題が話にのぼることはまったくとっていいほどありません。大変残念で考えようによっては、このような無知は一つの罪に値するかもしれないませんが、これが悲しい現実です。

かと言って私の周りでは動物には全然関心がないかというそうではありません。それなりに今日も大学のどこかで何匹か死んでいったであろう実験用動物に対して心悼めることもあるのです。

ただ自然保護の問題はあまりにも自分たちに関係のない、遠い問題なのです。

このような大衆の無知という問題について今日の動物保護にたずさわる人は、もう少し目を向けてはどうかと思います。簡単なことではないでしょうが、

もっと多くの人が気軽に自然のことを考える場がもてればいいのかなどと考えます。

かく言う私もちょっと前まではそんな新聞記事には目もくれませんでした。そんな私が今では、読んで考えるというところまで進歩したのです。それはもしかか食害防除学生団の作業になんとなく参加したことがきっかけでした。

縁もゆかりもないカモシカを救うため、被害調査やネットかけなど時には植林を手伝ったり、みんなしんどい作業にもかかわらず、爽やかで楽しそうであったのが印象的でした。この世の中もまだまだ、捨てたものじゃないと思ったものです。

ところで、私は今シートン動物記を読んでいます。オオカミ王ロボの話をご記憶の方も多と思います。ロボは数頭のオオカミのリーダーです。毎日殺される家畜に村人は、いろいろと策を弄してロボを捕えようとするのですが、ロボを捕えるための猟犬がどんどん死んでいくばかりで、毒も罠もロボには無駄でした。そんなロボにも弱点があったのです。愛するブランカのために命をおとすロボ、私たちが今ロボのように命がけで恋人や家族を救おうとすることができのでしょうか。ロボが生きているということについて示したひたむきな姿には、頭がさがる気がしました。

「うら町の捨猫」もどこでも見かける猫の生活が一種の哀歎をもって描かれていますし、どの話も創作であることは十分承知でも、うさぎや、カラスに負けてはいられないと動物記を読んで心ひそかに奮起する私です。

(京都薬科大学 学生)

なきごえ7月号もくじ

- 動物と私2
- “タンチョウ7年連続のおめでた” 3
- 動物園グラフ・動物園日記 4・5
- キーウィのニュージー君について 6・7・8・9
- キーパーズ・アイ 10
- 動物園ニュース 11

表紙の写真説明

“ハゲガオホウカンチョウ”

南アメリカ中部に生息するこのホウカンチョウは、鳳のような冠が特徴です。とても残念なことですが日本ではこの1羽のみとなりました。

(撮影：長瀬 健二郎)



“タンチョウ、7年連続のおめでた”

毎年、繁殖に成功しているタンチョウが、今年も繁殖に成功しました。5月25日の早朝と夕方に1羽ずつふ化したもので、2羽共順調に成育しています。ふ化日数は34日と31日でした。

(撮影：榊原安昭)

動物園グラフ

“赤ちゃん誕生”

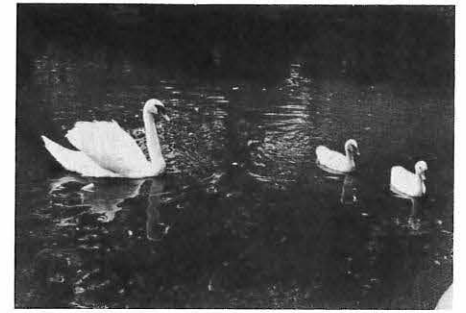
今年も動物園は、ベビーラッシュが続き、入園者の人達の目を楽しませています。今回はお目見え中の動物の赤ちゃんを特集してみました。
(撮影：農本武志)



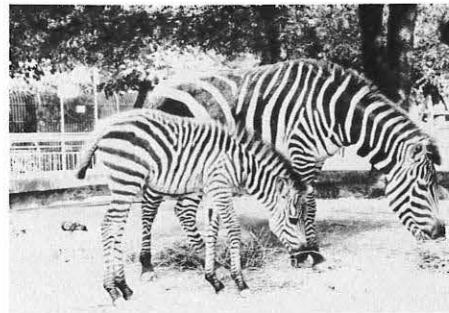
②タンチョウ
7年連続で、今年も可愛いヒナが2羽誕生しました。5月25日の朝と夕方にそれぞれふ化し、現在順調に育っています。



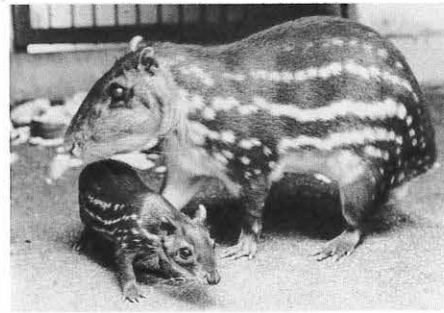
④ラマ
5月16日に、元気な雄の赤ちゃんが誕生しました。白と黒のツートンカラーが、とても印象的です。いつもお母さんのそばをはなれない甘えん坊です。



⑤コブハクチョウ
南園の日本庭園の池で、2羽のヒナが5月20日にふ化しました。ふ化後まもなく、お母さんに付いて池に入り、元気に餌を食べています。



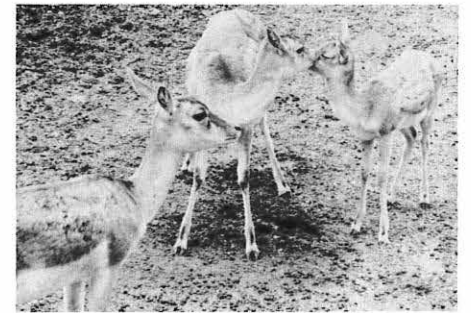
①グラントシマウマ
雄のラッキーとキャンディーの間に、雌の赤ちゃんが5月3日に生まれました。憲法記念日に因んで、ノリコと名付けられました。グラントシマウマの誕生は、6年ぶりのことです。



③パカ
5月20日の朝に誕生、性別はまだ判りませんが、ルンルンと名付けられました。親をミニチュアにしたようで、とても可愛く人気を集めています。



⑥カバ
昨年12月3日に、雌のデブコが出産しました。現在カバ舎では、父親のデカオと母親のデブコ、その娘の夏子、夏子の子供のツヨシと今回の子供と、5頭もの大所帯となりました。



⑦ブラックバック
5月3日、北園のカモシカ園で、元気な赤ちゃんが生まれました。

5・6月の動物園日記

- 5 / 13. 南園のマクジャク(雄)のケツメを闘争防止のために切除しました。
- 5 / 14. キョンが1頭生まれました。
- 5 / 15. 展示予定になっている2羽のアオバズクの性別を鑑定しました。
- 5 / 16. ムササビの親子2頭を保護しました。
- 5 / 17. 今年3月より隔離し餌づけを行っていた2頭の子アシカのうち、早く餌づいたタケゾウを元のアシカプールへ戻しました。上海動物園御一行の方々がお来園、見学され

- ました。
- 5 / 18. シュバシコウのヒナが7羽生まれているのを確認しました。
- 5 / 19. ニホンザルの子が1頭生まれました。
- 5 / 20. パカのパーコが1子を出産しました。コブハクチョウが2羽ふ化しました。
- 5 / 21. 餌付けで隔離していた残り1頭の子アシカ・ムサシもアシカ池へ戻しました。
- 5 / 24. キングペンギン3羽とイワトビペンギン2羽の爪切りを行ないました。
- 5 / 25. タンチョウが2羽ふ化しました。
- 5 / 26. アオバト、アオバズクを各々1羽保護しま

- した。
- 5 / 28. インドゾウのハルコが右牙を損傷し化膿しだしたので、治療を始めました。
- 5 / 30. マナヅルが1卵目を産卵しました。
- 6 / 1. メンヨウの毛刈りが行なわれました。
- 6 / 2. マナヅルの2産目の卵が確認されました。マントヒビ2頭と、カリフォルニアアシカの雄ベドロが動物交換により上海動物園に送られました。
- 6 / 6. ボランティアの朝の園内見学会が開かれました。
- 6 / 7. ワライカワセミが5卵抱卵しているのを確

- 認しました。
- 6 / 8. レアの雌を痛風の疑いで治療を始めることにしました。
- 6 / 9. 当園を舞台とする映画「小さな愛のメルヘン」“ふるさとの動物園”の試写会が催されました。
- 6 / 11. サイチョウの雌が出血性腸炎で急死しました。
- 6 / 13. アシカの子が1頭生まれました。
- 6 / 16. ホッキョクグマの雄の食欲が全くなくなり腰も立たないので、治療を始めました。

キーウィのニュージー君について

§ はじめに

1970年7月2日、万博記念にニュージーランド政府から贈られたキーウィのニュージー君、12年を経過して、毎晩人間との合唱を楽しんでいる現在です。その様子は毎年のように“なきごえ”7月号に発表させていただいて来ましたが、キーウィのくわしい飼育参考文献が欲しいと、いつも思っていました。此の度、ニュージーランドのオトロハンガキーウィセンターから、貴重な資料をいただいて、とてもあ



キーウィのヒナ (キーウィセンター提供)

りがたく感謝しています。このユニークな鳥の記録の中に、わがニュージー君もほんの少し参加させていただきたく、これまでと重複すると思いますが、その日常を記してみましよう。

§ 活動時間

冬至の頃で午後5時40分～50分、夏至の頃で7時40分～50分、というのが、現在のキーウィ舎でのニュージー君の御出勤時間です。これは日没と完全な関係があると思われれます。ただ、ニュージー君は非常にデリケートな心理の持主で、何かあると出てくるのが遅くなったり、また反対に早くなります。その様子を見てみると、まことにこちらにも納得出来る様々な理由があって、ニュージー君の陰影に富んだ性格が面白く感じられます。時には、推察力、判断力、理解力と言うようなものまで伝わって来て、これが7千万



年前の鳥の姿かと首をひねりたくなる事もある位です。

こうして夜明けまで、何回か巣穴に入って休息をとりながら活動します。

§ 視覚

光についてはよく判るようです。暗い電灯でも、足ぶみしながら消して貰うのを待っています。点灯していると、キーウィ独特のなきごえはきかれませんが、もともと、光には馴れるらしいので、これは決定的とは言えないでしょう。なく時は必ずと言ってよい程、天窗からさしてくる僅かな光の方へ顔を向けてなきます。しかしこの光は強すぎると嫌いなように思われます。

それともう一つ、その領土の中では、光による影を何となく記憶しているのではないかと、思われるフシがあります。著しく影の様子だけが変わった時は、2・3日不安そうにしていました。キーウィは明らかに影を意識して歩くようですから、当然の事でしょう。私はそこまで考えないで、落着かない様子を見て、ハッと判った事でした。植木鉢等動かした時は、必ず辺りに嘴のあとがあり、調べているのが判ります。

§ 聴覚

ニュージー君は始めの頃、カギの音にもビクッと体を動かしていました。あらゆる物音にとび上る、という感じでした。それが此の頃はハイウェイのパトカーの音にもビクともしません。勿論、私が毎朝声をかけても身動きもせず、知らん顔で寝込んでいます。(寝姿はさまざま)大嫌いな工事の騒音にも随分馴れてくれました。観客がバンバンガラス戸を叩いても、もうへこたれる様子もありません。キーウィの学習能力は素晴らしいものがあるようです。そしてそんな中で、ニュージー君は担当者との合唱という楽しい遊びを自分で作り出しました。その経過は昨年の“なきごえ”7月号に記した通りです。メロディには明らかに好き嫌いがあると思われれます。

§ 嗅覚

これについては実験が伝えられていますが、私は試した事はありません。新鮮な植物の匂いを非常に喜ぶように思われれますので、暗い室内で植物を保たせる為に、何度も何度も試行錯誤をくり返しました。12年前、植物用の電灯は普及しておらず、設備もされていませんし、公園局に属してはいても、すぐダメになるような高価な植物の配給は得られませんが、

幸い、ニュージー君の方は葉蘭(上司の庭からの寄贈)が気に入ってくれて、巣材に引きさいたり、おもちゃにしたりしていますが、美観という点ではお恥しい限りです。やがて将来、そうした点も考慮した、夢的な夜行性動物館が出来事でしょう。とにかく、大阪のような空気の悪い処では、嗅覚の鋭



いキーウィにとってかなり苦痛なのではないかと心配されます。スモッグの時などは、酸素を巣穴に少しづつ流してやるとよいように思われれます。

§ 音声

“キーウィ”となくのを1回と数えると、7回～27回位続けてなきます。ニュージー君は普通の場合、巣穴から出て一廻りするかしなにかぐらいでなく事が多いので、大体御出勤時間が判るわけです。短い時で15分、長い時で45分位おいて又なきます。ですから、1時間半～2時間程の間に4回が最高ですが、これは合唱が始まってからの事で、録音機を3時間セットして、いろいろな時間帯で試しても、なき声の入っていない時の方がはるかに多かったのです。30cm位の距離でナマのキーウィのなきごえをきき、一緒に合唱するのは言葉につくせない喜びを与えられます。将来、その喜びを誰もが享受出来る日が来る事をキーウィ全体の鳥に祈っています。そうなれば、キーウィはどんなに大切に扱って貰えるか、おそらくイルカ級にはなる事でしょうから。ワナにかかったり、犬にやられたりするキーウィの記事に、胸を痛める人が世界中に出来て欲しいと思わずにいられます。

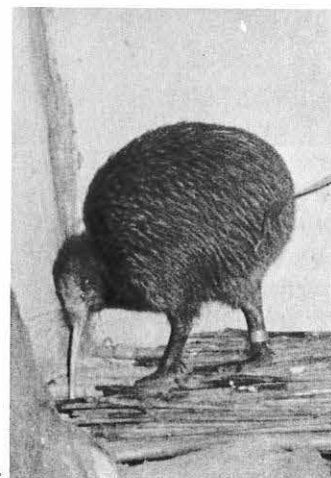
ニュージー君はその他に前にも記したように、ウウウッと言う声を出します。これは好きな歌に対する賛同の合の手だったり、明らかに私が退室しようとするのを阻止して“モウチョット待ッテ、スグ声ガデルヨウニナルカラ、ソシタラ合唱シヨウヨ”であったりします。時には30分も足元で言っています。必ず御機嫌のよい時で、スネている時はウツともフンとも言いません。

この他にまさに“キーウィ”と一声出す前のオーと

ッとかヒーッとかいう、せきばらいのような音声があります。これはなく前に必ず出します。

他に攻撃の時のヴェーッというような声、それからフンフンという鼻をならす音、怒った時はパチパチと嘴をならしたり、木などを激しく叩いて音を出します。

音と言えはその他に足音がありますが、ニュージー君は始めの頃、ワナにかかった指の故でか、ドタバタと走っていました。それが音もなくすべる様になり、此の頃は逆にカサコンと言う音をたてています。これは聴覚で楽しんでいるのか、触覚で楽しんでいるのか判らないのですが、乾草を通り道一杯に引きずり出して散らかすのです。私は始め、巣材として引き込むつもりかと思ったのですが、必ずしもそればかりではないようで、ニュージー君はスピードを出したりゆるめたり、何回も何回もその上を走り廻って、いかにも楽しそうに見えます。耳だけで聞いていて、それは他の動物のたてる音とは又意味が違っているように思われるのです。ニュージー君は意識的にこのカサコンという音をたてているのではないかと、あまりにリズムカルなのでそう思うのかも知れませんが。



§ 行動

他のキーウィは知らず、ニュージー君は行ったり来たり非常によく運動します。餌のミミズはふんだんにあって、餌探しに苦勞する事なく、無理に巢外へ出される事もなくて、自分の王国の主権は侵される事はないのですから、惰眠をむさぼってばかりかという決してそうではありません。私が早く来た時は、目が覚めるとフンフン言い出し、嘴を出して少し探り、(以前はこの時間が非常に長く、随分用心深かった)スッと身をかがめて巣穴から出ると、よく伸びをします。

巣材の乾草をチョイチョイとやって入口をかくし、それから合唱。まがった嘴の裏側へ引っかけて乾草を運んだり、何日もかけてよしずのあみ目をほどいてバラしたり。乾草をカサコンさせて走り廻るのは先に述べた通りです。ウウウッ、フンフンと言いながら、部屋中歩き廻ります。葉蘭を細く、手帖の鉛筆位にキレイに切りそろえて巣穴の入口へ置く時は、

“乾草をもっと追加して”という催促らしいのです。それは見事な細さにそろっていて感心する事があります。

他には“エーッ”という声と共に足でけりつけてくる攻撃。これは擬似攻撃のような感じで、毎晩というわけでもなく、どこかに甘えとちゅうちょの含まれた、真剣な怒りとはとても思えないものです。その後ですぐケロリとして合唱したり、おしゃべり



が始ったり、何の事だか判りません。或はシャイでテレ屋のニュージー君が、スキンシップを求めてわざと捕る鳥にしているのかも？と思われるぐらい、あまりにも足元でモタモタとしているからです。

§ 巣作り

現在ニュージー君は岩穴と木穴と木箱と横木穴と、4つの巣として使用出来そうなものを持っていますが、本宅は自分が要求して実現した横木穴です。

始めニュージー君は縦に据えた木穴にいました。そこはどうも気に入らない様子で、穴を掘って抜け、更に地下室をつくりました。実に見事なもので、入口を一寸のぞいただけでは、それから更に奥に地下室がある事など到底判らないように、入口も乾草でふさいでいました。残念な事に地質の故で、この地下室は2度も陥没し、ニュージー君はすっかり落胆したようでした。それで住居にするには巾がせますぎるのですが、中をくり抜いた木を遊び用に入れてやりました。暫く経った頃、ニュージー君は私の目の前で、その中空になった穴へ首だけさし入れ、じっとしているのです。抜けなくなったのかと心配して出してやると又々々という具合に、一晩に3度までして見せられては、いかに鈍感な私も、ハハア、これはこのような横になった空洞の巣が欲しいという事かと納得。丁度符節を合したように、翌日現在の横木穴の木が運ばれて来ました。他の処へ使う筈だったのを強引に貰ってしまったのは言うまでもありません。ニュージー君の意志表示は余りにも当を得ていて、今でも不思議な気がします。

この住居は極端な温度や湿度を、長い腕のような両方の中空でやわらげ、しかも空気がこもらず、まことに具合よくなっています。乾草でふさいだり、はずしたりして、ニュージー君は勝手に都合のよいようにやっています。入口につながる大きな空洞は直接地面と接していて、これ又自由な大きさの穴が掘れ、底の方へ身を沈めてしまったり、逆に乾草を厚くして浮き上ったりしています。巣の中を勝手にさわる事は御法度ですが、巣材の乾草や土を替えてほしい時は自分で或る程度出し、時には昼間なのにさっさと出て来て、中がキレイになるのを別荘で待っている、という芸当も心得ているようです。なお、キウイの音量からみて、部屋全体の天井の高さを考慮する必要があると思います。(ニュージー君の現在の音量と部屋の用量はよいバランス)

§ 食餌

ニュージー君は代用食を食べず、(もっともミミズがあるのに、何も代用食を食べる必要もないわけです)他のいろいろな果実なども置いてみましたが、全然手につけないので、今では、ミミズ、どじょう、パン、キャベツ、ミカン、やわらかい柿、(シーズンのみ)を給餌しています。この他エビヅル虫はよく食べましたが、コオロギの確認は出来ませんでした。

ミミズ……今でこそ業者から講入出来ますが、その頃はミミズ養殖の業者など、どこを探してもなく無理だったので、5年間というものミミズの養殖にはほんとに苦労しました。何もかも無我夢中の手さぐりでした。ミミズやいノのキャンペーンに協力して下さった市民の皆様、遠くの動物園の御厚志、養殖に力をかけて下さった米人マイヤー氏、飼育の同僚が暑い最中にほんの少しのミミズを求めてかけ廻ってくれた事、上司の心からの配慮と指導、そして代勤者の労を惜しまぬ、かげひなたのない手助け、



等がなかったら、とても乗り切れなかった事でしょう。ミミズの苦労は今では笑い話ですが、キウイ

の飼育とは切っても切れない思い出です。ただ現在、業者からの講入は入札制度で、こちらで業者を選べず、産業廃棄物がミミズの餌に使われていないか、業者の良心に待つかないのが、非常に気がかりです。

どじょう……キウイは水を飲まないように言われていますが、ニュージー君は飲むのを見かけます。そして嘴で水中のどじょうと格闘して、上手に食べます。ミミズに比べ、どじょうは体が大きいので、栄養源としては良いのではないかと思います。大きいどじょうだと、口から出したり入れたり逃げられたり、なかなかユーモラスです。

パン……皮をむいて細切りにして与えます。100g位一度に食べる時もあり、全然食べない時もあり、バラツキがあります。黒パンが好きで、食パンやカステラは嫌いです。干しぶどう入りのパンは干しぶどうだけ残しています。

キャベツ……高値の時は与えていません。久しぶりの時はサクサクと音をたてて食べますが、続くと嘴で突きさしたり、1枚1枚むしったりしておもちゃにしています。

ミカン・柿……少しは食べるようですが、目の前で食べた事はありません。嘴で突きさしたり、ころがしたり、はよく見かけます。

他にはさといもを2度、土中に埋めておいたところ、すっかりほじくり出してくちやくちやくにしています。食べるのかも知れませんが、資料がなかったので、ねばりが鼻について困るかも知れないと思い、それきりになっています。

§ 温度と湿度

日本でキウイを飼育しようとする、やはり冷暖房はかかせません。21℃~22℃位が目やすですが、クーラーの性質にもよりますし、一がいには言えないでしょう。この期間は停電が何より恐い事になります。冬の暖房はスチームですので、15℃位を目やすにしています。冷暖房の際は乾燥し易いので、湿度には絶えず気をつけています。それにミミズにしめり気を与える事も忘れてはなりません。植林の水やりの問題もありますし、キウイ舎の排水設備についてはよく考えられるべきだと思います。何と言っても室内にミミズを置いているので独特の匂いがします。換気扇は廻し放しですが、秋の空気の良い時など、夜空の星を仰ぎ、新鮮な空気を胸一杯に吸いたいだろうと可哀そうに思う時があります。もっとも、夜行性動物館では昼夜逆転しているのですから、かえって混乱を招く事になるでしょうけれど。

§ 性格

キウイがシャイな性格であるのはよく言われる事ですが、此の度のオトロハンガの資料で、担当のキーパーが、哺乳類を扱っている気分になるとの記事を拝見して、同志を得た思いで非常に嬉しく感じています。キジや水鳥の育雛から、同じ科に属していても、小さいうちからいろいろの性格上の違いがあるのを興味深く思っていますが、キウイは全然これらの鳥達とはかけ離れた雰囲気を持っています。つき合えばつき合う程、深みの出て来る性格、しかしその魅力はキウイが心を開いた時、始めて湧然としてかもし出されるものです。飼育9年後に突如として人間との合唱を始めたニュージー君に、私は喜びと同時に強いショックを受けました。ワナにかかったニュージー君は恐らく心を凍りつかせていた



のでしょう。キウイは驚くと、全く柔軟性を失い、身体が硬直したようになってしまうのです。再びニュージー君をかたくななカラに閉じ込めてしまう事のないよう、のびのびと暮らせてやりたいものです。ニュージー君の今後に期待して

§ おわりに

此の度のオトロハンガの資料はほんとに興味深いものでした。今後ニュージー君も良き配偶を得て、繁殖の様子が見られたら、どんなに感激深い事でしょう。どうぞその日まで、がんばってくださいよう、そして天王寺動物園に、確実にニュージー君の子孫が残っていったとしたら、どんなに素晴らしい事でしょう。どうぞそうなりますよう心から祈っています。

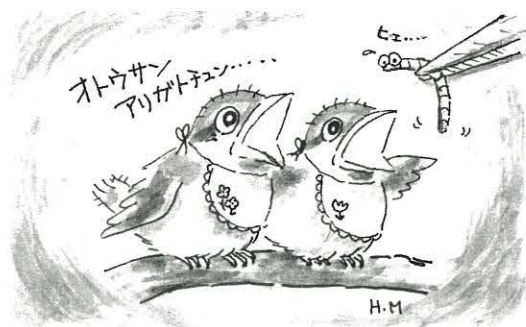
1982. 7. 1.

(飼育課：磯田啓子)

キーパーズ・アイ ②③

§ 育児パパは大忙し

春の行楽シーズンも過ぎ、梅雨から夏へと季節は、うつり変わっていきます。しかし、動物園の中の動物病院では、今年の春の行楽シーズン中に一般の方から持ち込まれた動物でいっぱいになってしまいます。レジャーで海や山に出かけた時に、親鳥にはぐれたのか、巣立してまもないヒナ鳥なのか状態はよく判りませんが、捕まえて動物園に持ってこられるのです。又、山で鳥の巣を探して巣ごと持ち去り、結局自分の手におえず動物園に持ってくる不心得者もいます。持ち込まれた理由は様々ですが、こうして持ち込まれた動物は、今までに、ツバメ・ムクドリ・ヒヨドリ・スズメ・カワラヒワ・モズ・フクロウなどのヒナ・アオバズク・コサギ・ゴイサギなどの衰弱した野鳥・キツネ・タヌキ・ツキノワグマ・ムササビの子供と種々様々です。この保護された動物たちの親替りになって面倒をみているのはM獣医師です。彼は動物園に勤務してまだ2年程ですが、大変研究熱心で、動物に対する愛情もとても深い好青年です。入院動物の世話や、治療、解剖、病理検査な



どの日常のいそがしい業務の中、育児パパとしての役目も立派に果しています。「弱っていたり、傷っていた動物たちが、元気になってくれると、疲れもふっとんでしまいます」と、M獣医師は、細い目をさらに細めて語ってくれました。これからもガンバレ育児パパ!

飼育課：農本 武志

♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪ 月 ♪

§ バーバリーシープ山の決闘



カーン、カーン、動物園の朝の静けさを突き破るように角を突きあわせる音が響きわたる。ところは北園、バーバリーシープ舎において、若きボスと、元ボスの壮絶な戦いがくりひろげられていた。以前

ボスNo.1の雄が、若い雄の挑戦を受けて立ったが、不覚にも角を1本折られ、ボスの座を奪われたのだ。角を折られてからの元ボスは、それ以後、若きボスに手も足も角も出ず、無念の日々を過してきたのである。しかし、いつかはボスの座を奪回すべく力を蓄えていたのか、今年の春、ついに若きボスに対してリターンマッチを挑んだのである。形勢は、元ボスに不利のように見えたが、元ボスの意地か、戦いは長期戦にもつれこんだ。担当者の村田係員や関係者ら一同見守る中、ついに決着がついた。相互からみあっていた角が、ボキッという鈍い音をたてた。一瞬、又元ボスの角が折られたのかと思いきや、なんと若ボスの角が折れたのであった。元ボスがボスの座に返り咲いたのだ。その後のバーバリーシープ山では、今まで若ボスに遠慮して座れなかった頂上の岩に、元ボスの堂々たる雄姿が見られるようになったのである。

飼育課：農本 武志
(イラスト：松山 浩美)

すてき満喫 近鉄クレジットカー

- 全国の近鉄流通グループ・都ホテルチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただだけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。



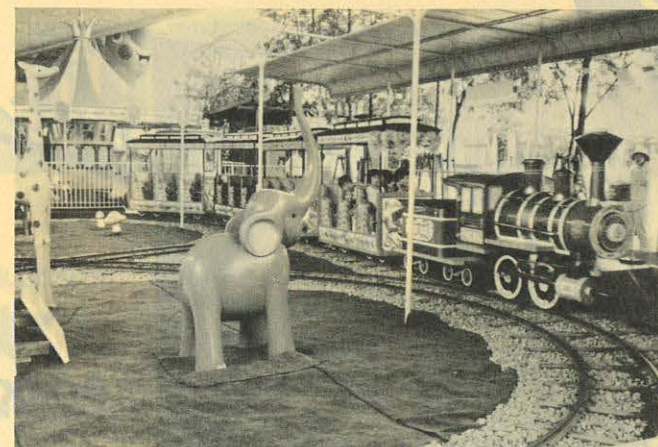
近鉄百貨店

お申込み・お問合せは 各店クレジットセンター
アベノ店 06(624)1111・上本町店 06(779)1231
東大阪店 06(783)1111・奈良店 0742(33)1111

近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・枚方・和歌山・東京(吉祥寺)・四日市・松阪・伊勢・岐阜・徳山・別府

たのしいのりもの、が待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
…… 1割引

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(06) 541-3112 (06) 771-0201

動植物の生態をわかりやすく解いた楽しい幼児図鑑

こどものずかん

この図鑑は正確な絵と生態写真を使って幼児の観察力を養い育て、動植物への理解を深めるようにつくられています。カラーページには身近に見られる動植物を取り上げ、2色ページには観察や飼育・栽培をするときの心構えと要領がのっています。最寄の有名書店、百貨店で求めください。



全 10 巻

● B5判・上製本・56頁

各巻定価650円

- ① みちかな どうぶつ
- ② のやまの むし
- ③ にわや かだんの はな
- ④ うみの いきもの
- ⑤ やさいと くだもの
- ⑥ どうぶつえん
- ⑦ のやまの くさき
- ⑧ みずへの いきもの
- ⑨ のやまの とり
- ⑩ きせつと しぜん

ひかりのくに株式会社

〒543 大阪市天王寺区上本町3-2
☎(06)768-1151代表

◎ 動物のことなら あらゆることに
お役に立ちます。

- 飼育指導（ペットよろず相談）
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写生会
- 撮影用動物モデルリース
- 動物（ペット）、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

110 自然から学ぶおもいやり

株式会社 アニマ

（いきもの110ばん）

☎ 06-863-1025 (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

ポッカ コーポレーション

ご行楽に...

ポッカ
つぶちゃん
オレンジ



NET 250g
標準小売価格 ¥100



ビタミンC入り

POKKA P
スポーツ アルカリ イオン飲料
C-500

NET 250g
標準小売価格 ¥120

誰が押しても



ただフィルムを差し込むだけです。

自動装てん



ピン合わせはカメラまかせです。

自動焦点



次々とシャッターを押すだけです。

自動巻き上げ

撮り終ると同時に巻き戻されます。

自動巻き戻し

フジカオート7 デート
標準価格 49,800円
(本体47,800円/ケース2,000円)
標準価格はメーカーが希望する標準的な小売価格です。

大阪市天王寺動物園協会発行

「なきごえ」発刊200号特集記念

協 賛

獣医科 (イロハ順)

岩崎橋犬猫診療所

TEL (06) 551-1323
大阪市大正区三軒家西1-7-18
辻 栄重

奥村獣医科

TEL (06) 211-8941
大阪市南区島ノ内2-8-34
奥村 弘

高岡獣医科

TEL (06) 471-1672
大阪市西淀川区野里2-2-5
高岡 秀和

高瀬獣医科

TEL (06) 971-7927
大阪市東成区大今里4-27-25
高瀬 一行

谷町獣医科

TEL (06) 941-7693
大阪市東区谷町4-20
池尾 信一郎

鶴野獣医科病院

TEL (0722) 33-0372
堺市一条通18-8
鶴野 整傳

浦東獣医科

TEL (06) 631-3331
大阪市浪速区恵美須西3-6-11
浦東 信夫

福留獣医科

TEL (06) 322-6290
大阪市東淀川区下新庄1-11-7
福留 慶彦

藤井寺動物病院

TEL (0729) 54-5630
藤井寺市御舟町1-3
是枝 哲世

芦屋家畜病院

TEL (0797) 22-3961
芦屋市打出小槌町46
岩崎 孝泰

境川獣医科

TEL (06) 582-0252
大阪市港区市岡元町1-1-1
松村 一弥

東田獣医科

TEL (0726) 82-3297
高槻市名神町3-8
東田 和弘

.....ぼっちゃん
.....おじょうちゃん

どうぶつえんへ.....
いらっしやいませ.....
ごきゅうけいは.....
おしょくじは.....

動物園内北園

中央売店

☎ 06-771-0973

たのしい、動物のお話、は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヵ所にあります

1回 20円

関西特機株式会社 ☆ 社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(06) 762-2333 (06) 771-0201

天王寺動物園内

南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (771) 7110番

園内でのお写真は…

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます



◎随時係員が待機しておりますので説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

動物園協会
指 定

国際航空写真株式会社

豊中市蛸池西町3丁目555 関西国際空港ビル内
大阪営業所 TEL 06-856-7444

動物園ニュース

§ メンヨウの毛刈

6月1日の衣がえにちなんで、恒例のメンヨウの毛刈が行なわれました。

手慣れたハサミさばきで約1時間ほどで、6頭のメンヨウの毛刈をおえましたが、6頭で28kgの羊毛が取れました。散髪をおえたメンヨウは涼しげで大変気持ち良さそうです。



メンヨウの毛刈り

§ アシカ、マントヒヒを上海動物園へ贈る!!

上海動物園との第4次動物交換として、昨年10月31日にクロオオカミ一番が来園しましたが、そのお礼として当園からカリフォルニアアシカの雄1頭とマントヒヒ一番を6月3日に上海動物園へ贈りました。輸送にあたって土井飼育課長とアシカ担当の東飼育主任が同行しました。同行した2名は1週間の



輸送檻に入れられたアシカとマントヒヒ

§ マナヅル産卵

上海動物園との第1次動物交換で昭和49年に来園したマナヅルが5月30日と6月3日に産卵しました。

昨年も6月15日に産卵しましたが、おしくもすぐに破卵してしまいました。今年は早くからディスプレイも見られ、産卵が期待されておりました。現在、雄雌交代で抱卵を続けています。1卵は7月28日に抱卵を放棄し、破卵してしまいましたが、残る1卵



は抱卵を続けています。うまくゆけば7月初めにひなの誕生のニュースをお知らせできるでしょう。

§ まだまだ続く出産ラッシュ!!

先月号で、たくさんの出産動物をお知らせしましたが、6月に入ってからもまだまだ出産ラッシュが続いています。

6月13日にカリフォルニアアシカの子が1頭生まれました。毎年3頭ぐらい生まれるのですが、今年は1月終りに2頭流産していますので、今年はこの1頭で終りかもしれません。それだけにこの1頭はぜひ無事に大きく育ててほしいものです。

6月18日にはスプリングボックが1頭生まれました。神経質な動物ですが、じょうずに子供を育てています。しばらく寝室に収容したままですが、まもなく親子のほほえましい姿を御覧いただけるでしょう。

6月22日にはフサオマキザルが出産しました。この雌は昭和51年以来5産目で、今までに2頭の子供



スプリングボックの親子

を無事育てているベテランママですので、今回もきつとうまく育てることでしょう。

鳥類では、水禽放養舎では例年どおりアオサギがふ化し、順調に成育し6月8日には4羽のヒナが巣立ちました。また同じ放養舎で、コサギが初めて繁殖に成功しました。毎年、巣作りと産卵はするのですが、ヒナはふ化しませんでした。今年6月21日には2羽のふ化が確認され、先に巣立ちした1羽と合せて3羽のひなが無事育っています。

人工ふ化も、先月号でお知らせした以後、チャムネシャクケイ2羽、ハイロコクジャク4羽、カムリシギダチョウ3羽などがふ化しています。昭和54年以来、毎年繁殖に成功しているベニジュケイも3羽ふ化しています。

現在の飼育動物数 (1982年5月31日現在)

哺乳類	101種	364点
鳥類	226種	777点
爬虫類	44種	97点
計	371種	1238点

なきごえ 昭和57年7月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

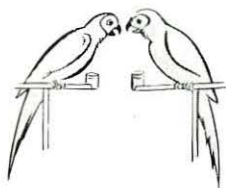
第18巻 第7号 (通巻203号)

〒543 大阪市天王寺区茶白山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

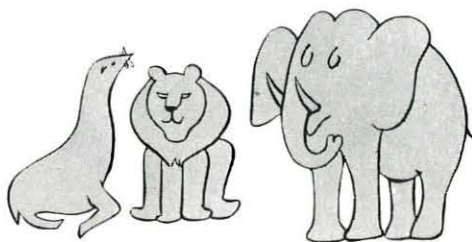
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨグール

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

橋本 一郎・土井 良彦・樽本 勲・中川 哲男・宮下 実・長瀬健二郎・榊原 安昭・森本 委利・大野 尊信
 葭谷 文彦・農本 武志・野口 秀高・仲谷 登・小出 雅三・板野 健一・石島 宏胤・柴田 総